

令和4年8月2日

報道関係 各位

整形外科手術支援ロボット「ROSA Knee」を 【渋谷区で初めて】導入しました

日本赤十字社医療センター(東京都渋谷区広尾)は令和4年8月1日から、人工膝関節置換手術で使用する整形外科手術支援ロボット『「ROSA Knee システム」(米国ジンマー・バイオメット社)を導入します。本システムでは、骨切りやインプラント設置の手術手技において、ロボットが術者をアシストすることで、より正確で安全な人工膝関節置換手術の実現が可能となります。国内においては、令和4年3月時点で26台が導入され、安定した成績が報告されていますが、日本赤十字社医療センターにおいては従来から実施しているコンピューター三次元術前計画や独自の術後疼痛管理と組み合わせることで、より正確で合併症の少ない手術の実現が期待されます。

【導入する機器の概要】

1 導入機器

機器名称:ROSA Knee System (ロザニーシステム)

販売会社:Zimmer Biomet(ジンマー・バイオメット)社製

2 人工膝関節置換術

変形性膝関節症や関節リウマチなどの疾患に対して実施される手術で、傷んだ関節を金属やポリエチレンなどからできているインプラントに置き換える手術です。インプラントの設置精度が成績に大きく影響されます。

3 ROSA Knee システムの効果

人工膝関節手術で重要であるとされる骨切り、インプラント設置という手術手技において、ナビゲーション機能を備えたロボットが補助します。その精度は、 0.5° 、0.5mm 単位の調整が可能となるため、非常に正確な骨切り、インプラントの設置が可能となります。これにより、理想に近い人工膝関節を実現し、患者さんの早期社会復帰、良好な膝関節機能の回復が期待できます。

【お問い合わせ】

取材をご希望の際は、事前に総務課広報係(電話 03-3400-1311)までご連絡をお願いいたします。